

前期前半も残すところあと5日になりました。例年ならば、今頃は夏休みの生活にどっぷりつかっているところですが、今年は、新型コロナウイルス感染症対策による臨時休業分の授業時数確保のため、夏休みは8日(土)～16日(日)の約1週間になっています。

そして、17日(月)から前期後半が始まり、9月10日(木)・11日(金)に前期期末考査が行われます。自分の目標に向けて計画的に学習を進めましょう。

## 三者面談を受けて・・・



今週28日(火)から始まりました三者面談におきましては、保護者の皆様のご協力をいただき、ありがとうございます。お陰様でお子様の進路実現に向けて、有意義な話し合いが進んできているところです。

3年生の皆さんは、この面談を通して自分の目標も定まってきたところだと思います。それぞれの目標に向かって勉学に励みましょう。

10月と11月初めに行われる学力診断テストまであと2ヶ月です。

中学校の実力テストの場合、本気になって勉強を始めてから成績が伸びてくるまでには、約2～3ヶ月はかかると言われています。

しかし、12月の三者面談では、この2回のテストの結果をもとに、どの高校を受験するのかという具体的なことを決めていきます。部活動を引退してから、すぐに勉強への切り替えができていますか？今から本気を出そうと思っている人は、すぐには成績が上がらなくても、自分の力を信じてくじけずに勉強を続けていきましょう。



## 今年の夏休みは・・・



例年ならば、6週間の夏休みが3年間の自分の弱点克服にたっぷり時間を使うことができる最後のチャンスでした。しかし、今年はわずか1週間です。

今まで弱点を残したままにしていた人は一刻を争って弱点を補強しましょう。

また、昔から、夏は受験生にとっての天王山と呼ばれ、高校受験の可否を大きく左右するものだと言われてきました。なぜなら、夏休みの後からは、誰もが受験に向けて一所懸命に勉強するので、その中で成績を上げていくのは難しくなるからなのですが・・・。

今年は、それでは遅すぎるということがわかりますか？今がまさに天王山なのです。



## 新型コロナウイルス感染症の猛威



巷でも新しい生活様式である手洗い・うがい・マスクの着用・検温・三密や不要不急の外出の回避が、学校の内外を問わず定着してきました。そのため、6月初旬には、新たな感染確認者の数も全国的に抑えられました。しかし、7月下旬から、全国的にも福岡県でも新たな感染確認者数が増加の傾向にあります。

学校の方でも、気を引き締めて新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでまいりたいと思います。引き続き、毎朝の検温やマスクの準備等のご協力をお願いいたします。



# 8月の行事予定



日		行事	1	2	3	4	5	6
1	土							
2	日							
3	月	5限(課題学習)～三者面談⑤ 部活動中止	火1	火2	火3	火4	総	
4	火	5限(課題学習)～三者面談⑥	火5	火6	水2	水3	総	
5	水	5限(課題学習)～三者面談⑦ 英検IBAテスト	水4	水5	金6	英テ	総	
6	木	5限(課題学習)～三者面談⑧	木1	木2	木3	木4	総	
7	金	前期前半終了日	木5	木6	金1	金2	行事	
8	土							
9	日							
10	月	山の日						
11	火	学校閉庁日						
12	水	学校閉庁日						
13	木	学校閉庁日						
14	金	学校閉庁日						
15	土							
16	日							
17	月	前期後半開始日	行事	学	金6	金3	金4	
18	火		火1	火2	火3	火4	火5	火6
19	水	歯科検診	道	水2	水3	水4	水5	金6
20	木		木1	木2	木3	木4	木5	木6
21	金		金1	金2	金3	金4	総	
22	土							
23	日	部活動中止						
24	月		月1	月2	月3	月4	月5	学
25	火		火1	火2	火3	火4	火5	火6
26	水	道徳：暴力団排除教育	水2	水3	水4	水5	金6	道
27	木		木1	木2	木3	木4	木5	木6
28	金		金1	金2	金3	金4	総	
29	土							
30	日							
31	月		月1	月2	月3	月4	月5	月6

どうして天王山って  
いうの? →裏面へ



※予定は、変更になる場合があります。



## トピックス 「夏は受験生の天王山」～なぜ、天王山なの?～

「天王山」とは？

「夏を制するものは受験を制す」「夏は受験生の天王山」などは、この時期、よく聞きする言葉ですね。

スポーツなどでは、主に「優勝がかかった重要な試合」を意味する時に使うので、何となく勝負の分かれ目などを意味するのかな?と推測はできますね。

そのとおり、「勝負の分かれ目」という意味で使われます。

ただ、天王山を使うときには、試合や大会など、長い時間がかかるものを対象としています。そのため、野球で重要な場面であっても、「次のボールが天王山だ」といったようには表現しません。

では、「天王山」という言葉の由来は?・・・気になりますね。

天王山は京都府乙訓郡山崎町にある山で、古代から戦略的に重要な山であり、大阪方面から京都方面に入るためには、天王山のふもとを通るしかありませんでした。

飛行機がない時代は、山の上を陣取った方が相手の動きを見渡すことができるので、圧倒的有利になりました。



天王山

京都府乙訓郡大山崎町西の山。標高270メートル。

1582年豊臣秀吉と明智光秀が山崎で合戦。この山の占領を争い秀吉の手に帰した。頂上から木津・宇治・桂の3川が淀川となる合流点を一望できる。

(【京都市公式】京都観光Naviより)

1582年に、織田信長が、家来の明智光秀に殺されました(本能寺の変)。





その時現在の岡山県に居た羽柴秀吉(のちの豊臣秀吉)は、そのことを知ると当時では予想できなかったスピードで大阪府まで帰ってきて明智光秀と戦い、羽柴軍が勝ちました。この戦いは山崎の合戦と呼ばれ、この戦の結果によって、羽柴秀吉が織田信長の後継者とみなされるようになり、日本の歴史が決まりました。誰が天下人になるのかを決する戦となったのです。

実際は、天王山は山崎を見下ろせる場所としては重要でしたが、戦は淀川方面で勝敗が決しました。しかし、天王山の取り合いが山崎の合戦で重要だったという話が一般に広がり、その結果、天王山が勝負の分かれ目という意味の言葉として使われるようになりました。



### 天下分け目の天王山 ～勝負は川沿いで決まった～

羽柴秀吉が本陣の大部隊と共に天王山の東に出たのは、合戦が始まって約1時間ほどたった頃だ。この図はその直後の戦場を、北から南向きに描いている。画面左側の光秀の本陣では、後退する味方の様子に不安な気分が現れている。右側の秀吉の本陣では勝利の確信が広がっている。(「京都府大山崎町ホームページ」より)

天王山の西側と南側の斜面は、大阪府も含まれます。天王山は、3年生の皆さんにとって懐かしい修学旅行の思い出の地である京都と大阪にまたがる山だったので。